

※文字の大きさは Meiryo UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。
 ※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真1) (表1) などと文中に記載し、右ページに(写真1) (表1) などと表記の上、貼り付けてください。
 ※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。
 ※いずれの場合も、必ず A 3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

<p>エントリー学校名 鹿児島県霧島市立三体小学校</p>
<p>活動名 三位一体！三体小から発信 どんぐりピアノ絵本の発行を通して</p>
<p>解決すべき課題 本校は、霧島連山に囲まれ、自然豊かな風光明媚な環境にある。学校に対する保護者、地域の期待は大きい。しかし、伝統芸能の後継者不足や地域活性化が課題になっている。それらを解決するために、教育資源を有効に活動に取り入れ、学校、家庭、地域が三位一体となって、地域を創生させたいと考えた。</p>
<p>目標・方針 1 「どんぐりピアノ」の再生、「どんぐりピアノの歌」の創生 昭和 27 年、今から 66 年前の戦後間もない時代。「子供たちにピアノの音を聞かせたい。」と、本校の小学生や教職員、保護者、地域が協力し、どんぐり 5 万本を植林した。2 年後、5 万本のくぬぎ苗になり、収益金を使い、昭和 29 年 10 月「どんぐりピアノ」を購入した。「どんぐりピアノ」の名称は、どんぐりから因んで名付けられた。さらに、「どんぐりピアノの歌」という曲も作成した。この素材を有効に活用できないかと考案した。 2 大型絵本「ぼくはどんぐりピアノ」から小型絵本発行へ ピアノ購入から月日が経過したが、平成 12 年、ピアノの逸話と歴史を後世へ継承するために、保護者が協力して、大型絵本「ぼくはどんぐりピアノ」を作成した。「どんぐりピアノ」の逸話と歴史を大型絵本から小型絵本へ普及できないかと考案した。</p>
<p>活動内容 1 「どんぐりピアノ」の再生、「どんぐりピアノの歌」の創生 ・ 偶然にも、65 年前にどんぐりを拾った小学生の孫が、ピアニストの入来慶子氏だった。「どんぐりピアノ」を使い、家庭や地域に音色を聞かせたいと考え、どんぐりピアノミニコンサートを実施した。(図 1) ・ 学習発表会の演目に「どんぐりピアノの歌」を取り入れ、会場全員で合唱した。(図 2) 2 大型絵本「ぼくはどんぐりピアノ」から小型絵本発行へ ・ 「どんぐりピアノ」の逸話と地域の教育愛を後世へ残すために、大型絵本を基に 1,000 冊の小型絵本を作成した。絵本は、CD 付きでどんぐりピアノの音源や歌唱曲を鑑賞することができる。 ・ 学習発表会で、保護者による大型絵本「ぼくはどんぐりピアノ」の読み聞かせを行った。(図 3)</p>
<p>活動の成果 1 「どんぐりピアノ」の再生、「どんぐりピアノの歌」の創生 ・ どんぐりピアノミニコンサートを開催し、学校だけでなく、家庭、地域が一体となって、「どんぐりピアノ」を後世に残していく士気を高められ、一体感・連帯感が生まれた。(図 6, 7) 2 大型絵本「ぼくはどんぐりピアノ」から小型絵本発行へ ・ 小型絵本 1,000 冊を完売し、地方新聞や YouTube で、多くの方へ周知できた。(図 4, 5) ・ 逸話と教育愛を後世に残すために、学習発表会で保護者による読み聞かせを行い、好評を博した。</p>

アピールポイント (アイデアや工夫)

- ・ 昭和 29 年から保管された「どんぐりピアノ」を再発掘し、ピアノがもつ歴史や教育愛を普及することができた。
- ・ ミニコンサートや学習発表会を通して、「どんぐりピアノ」を後世へ残し、保存していく方向性を確立できた。
- ・ 大型絵本に携わった方の努力や情熱を小型絵本にすることで、現実味あふれる教材として、有効に活用することができた。また、学校のみならず、家庭や地域の活性化や教育力を高めることができた。

～やさしい音色に包まれて～
どんぐりピアノミニコンサート
 in 三体小学校
 日時：2019年5月29日(水)
 10:00～11:00
 場所：三体小学校体育館
 入場：無料

図 2 学習発表会の様子

図 1 どんぐりピアノミニコンサートの案内

図 3 大型絵本の読み聞かせ

「どんぐりピアノ」が絵本に
終戦後、児童らで資金 霧島 三体小
 購入65年、今も現役

図 5 YouTube による掲載

図 6 どんぐりピアノの児童感想

学校評価による実態調査

調査項目	7月 (前期)	12月 (後期)
12月地域から学校への期待	50	75
7月地域から学校への期待	50	60
12月家庭から学校への期待	50	75
7月家庭から学校への期待	50	60
12月学校・家庭・地域の意識の高まり	50	75
7月学校・家庭・地域の意識の高まり	50	60

前期、後期の学校評価を比較すると、学校に対する家庭、地域の意識や期待が高まった。

図 7 学校評価による実態調査